

## 第14回 鶴川中央小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2026年2月16日(月) 9:30~11:15	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 視聴覚室(ウェブ会議併用)	
出席者 (敬称略)	委員	岩永委員、沼尻委員、柄澤委員、増田委員、功刀委員、竹村委員、大隅委員、仲村委員、浅沼委員、◎鰐坂委員、○高橋委員 (◎会長、○副会長)
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、児童青少年課、防災課
傍聴者	0名	

### 議事内容

はじめに【学校教育部長挨拶】

学校教育部長 本日はお忙しい中、新たな学校づくり基本計画推進協議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

今回の協議会は、鶴川第三小学校と鶴川第四小学校がこの4月に統合となるので最後の会となる。これまで皆様方と一緒に準備を進めてきた鶴川中央小学校が、いよいよこの4月に開校する。

統合に当たっては、2022年2月からの全12回の基本計画検討会での話し合い、そして、本協議会にて、2023年5月から3年間にわたり、通学路、校歌・校章の策定等、様々な事項について具体的な検討を行っていただいた。その結果、2026年4月に鶴川中央小学校の開校を迎えるための準備ができた。改めてお礼を申し上げます。

協議会委員の皆様におかれては、2029年度の新校舎開校に向けて、ご意見を頂戴できればと思っている。これからも、引き続き、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。御礼とさせていただきます。

#### 1 第13回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 (資料1説明)

#### 2 報告事項

(1) 鶴川中央小学校の開校について

委員 (資料2-1-1説明)

新たな学校推進課 (資料2-1-2説明)

委員 真光寺の一部では、和光学園のところまで歩き、和光学園発の急行鶴川行きに乗って消防署前で降りて、歩くルートの方が早いかもしれない。

児童を早く下校させるための一つの案として、給食の後に全員で掃除をする必要はないのではないか。

(2) 通学の安全対策について

学務課

(資料2-2説明)

委員

鶴川三丁目にはスクールゾーンに指定されているところがあるが、もう何十年も前に設定されたスクールゾーンなので、今の登校の子どもたちの数に合わなくなっている。スクールゾーンを新たに考えるならば、児童の実態に合わせたスクールゾーンにしなくてはならないと思うが、スクールゾーンは今のままで続行するのか。

学務課

スクールゾーンについては警察で設定をするものとなる。今回、鶴川地区の学校統合に合わせてスクールゾーンを見直す話は今のところ聞いていないので、継続されるものと認識している。

委員

警察が決めるものではなく、学校やPTA、地域が話し合っ、警察が決めていくと認識しているがどうか。

学務課

スクールゾーンの設定については、おっしゃるとおり、まず地域や学校から要望があり、警察が規制をかけるかどうか改めて検討して、決定するものと聞いている。

委員

鶴四小側から交番前へつながる道は、鶴川中央小へ通う場合、通っていく子が多くなると思うので、できるだけ早くスクールゾーンに指定したほうが良い。

学務課

統合新設校の学区域内にあるスクールゾーンについては、見直しを図るべきかどうかの検討は今後必要であると考えている。

新たな学校推進課

補足する。この4月に統合したほかの地区の学校でも同じような指摘があり、その際、警察の方と現地を実際に見に行ってきたが、新校舎に移る前提があるのであれば規制は変えないことが基本であることが当時の見解だったので、基本的に同じ考えであると認識している。

現在の規制が適切なのかどうかについては、校舎が移る前年度に教育委員会や警察、道路管理者とも現地を確認するので、今いただいた意見も踏まえて改めて関係機関と協議をさせていただく。

委員

鶴川団地の交番前の横断歩道のところは、鶴川三丁目町内会や老人会へ、朝の時間の旗振りについて相談をしたところ、長くても30分、できれば15分くらいならとの意見があった。

今の子どもの登校の実態を見ると、一番早い子だと7時半ぐらい、一番遅い子だと8時半くらいになり、暑いときや寒いときの見守りはかなり厳しいと思う。それから、3日に1回、1週間に1回ならば協力できるが、高齢のため毎日は難しい。

町内会や老人会が主ではなく、保護者やPTAなどが、1~2か月に1回くらい当番で立ってくださいという形を主とし、それを補助する形で町内会や老人会が一緒にやるということのほうが望ましいのではないとの声が出た。

委員

学校としての考え方、これからのことを少し補足で話す。

まず、地域の方との連携は本当に深めていかなくてはいけないと思っている。既に何度か、学校からや新たな学校づくり推進課からも地域との連携を深めるために話は進めている。現在でも、毎日あるいはある時期だけ、鶴四小の町内会をはじめ地域の方々に協力いただいている。鶴川中央小になってから、どのような時間帯でど

のような方が見守ってくれるのか、教員としてもどのように対応していけるのか、また、PTAとの関連も煮詰めていかななくてはならないと思っている。

学校の中で児童の安全対策として考えていることが、まず3月に、現鶴四小の在校生向けにバス通学に関しての安全指導の機会を設ける。昨年9月に路線バスの乗り方教室や親子通学練習会を実施しているが、開校前に改めて指導を行う。4月に入ってから行う予定であり、児童自ら自分の安全を守るような意識を深めさせたいと考えている。

### (3) 避難施設について

防災課

(資料2-3説明)

委員

先日、鶴一小で防災訓練があり、そこで感じたことは、鶴一小は施設面が格段に良いと感じた。体育館と防災倉庫が室内で繋がっており、物資が出しやすいようになっていたほか、インターホンを押すと事務室が解錠して門が開いた。新しい学校の良さを実感したし、鶴川中央小もそういう施設になることを期待している。

### (4) 子どもたちと進める新たな学校づくりの取組について

新たな学校推進課

(資料2-4説明)

委員

子ども向けのまちだの新たな学校だよりは紙発行されているのか。

新たな学校推進課

児童のクロームブックのクラスルームに貼っており、いつでも見られる、いつでも答えられるという環境を用意している。

委員

子どもたちは見に行かないと見られない、アクセスしないと見られないということか。

新たな学校推進課

実際にアクセスしてもらい2,000件超えの子どもからの意見が集まっている。

### (5) 新たな学校づくりに関する取組内容等と2025年度における事業到達実績について

新たな学校推進課

(資料2-5説明)

委員

学校周辺の住民は落ち葉がたくさん飛んでくるので、高木などがどうなるかなど新校舎の外周のことの方にも関心がある。そういった地域の方々の思いを聞いてもらいたい。

自動車での送り迎えについて、自動車送迎はしてはいけないと鶴川中央小開校時に学校が毅然とした態度を取ってほしい。

委員

緑が多いことによって美しい町の風景もできる。落ち葉が落ちたら掃けばいいと思う。

真光寺では、真光寺十字路に地域の見守りが立っている。できる人でやっていく方が、子どもたちのためになると思う。

PTAの活動に関しては、現在共働き世帯が多く、時間の調整が非常に難しくなっていると思うが、そういうところを工夫できないか検討してほしい。

委員

今、鶴四小のPTAで、わんわんパトロールというものを導入している。通学時間

帯に散歩をしてもらい、子どもたちを見守る活動をやってはいる。子どもたちが歩いている中で、誰もいない中を歩くよりは、そういう地域の方々がいる中で歩けるという環境が子どもたちにとってはありがたいのではないかと保護者としては感じている。

委員 　　少し話は変わるが、同級生や知り合いがいたら声をかけて誘い合って一緒に登校したり、同じ方向だったら一緒に帰ることを勧めていくなど、そんなことを学校としてやっていっていただけるといいと思っている。

### 3 協議事項

#### (1) 2026年度以降の新たな学校づくりの推進体制について

新たな学校推進課 (資料3説明)

委員 　　学校としてだが、学校運営協議会にこの会を移行していくことについて、とても意義のあるものだと思った。

この学校運営協議会の委員の皆さんに学校からもしっかり説明をして、ご協力とこの後の流れを理解していただく必要があると改めて感じた。次の学校運営協議会で話を出して、また今後の体制を整えていきたい。

会長 　　では、提案内容の方向で、次年度、推進協議会を開催する形で進めていきたいと思う。詳細については、新年度改めてご相談、お知らせすることとする。

会長 　　以上で、本日の議事は終了となる。

本日が今年度最後の協議会となるので、皆様から一言ずついただければと思う。

委員 　　検討会委員のときからここまで、皆様と一緒にいろいろと話し合いながらできた。鶴三小では、六丁目のボランティアの方々に登下校の子どもたちが帰るときに見守ってもらう活動をしている。ついこの間、活動している方々の話を聞いた。自分たちも、ある意味見守りしてもらえるような立場になってきながらも、長年こうやって子どもを見守れるのは、子どもたちの「ありがとう」の言葉や、感謝の気持ちが伝わってくるので頑張れると。鶴川中央小では、児童の数が増えてくると見守り切れるか不安だとも言っていた。鶴川中央小になってからも、またお願いしていけたらと思っている。

児童が増えるので、交番前の交差点も心配されていたが、学校を含め、保護者として、今後PTAも関わっていくと思うが、保護者の方や地域の方々にも、時間がある際に協力を仰ぎたい。学校でも、今まで4月、10月と、年に2回ほど挨拶と見守り活動をしてきたが、できる範囲の中でも増やしていきながら、この1年は特に見守りについて発信していけたらと考えている。

学校は市も認めた地域活用型学校でもあると思うので、今後も、地域の方々や子どもたちが伸び伸びと活動し、安全な学べる場として築いていっていただけたらと思っている。よろしくお願いします。

委員 50年を超える2つの学校が、こんな歴史的に続いた学校がなくなってしまうこと、すごく残念だが、やはり新しい学校ができることをすごくうれしく思っている。こういった場に参加させていただき、ありがとうございました。また、今後も、青少年健全育成でもいろいろご協力いただくとおもうので、よろしく願いいたします。

委員 何とか2026年4月に鶴川中央小がスタートできそうなので、大変うれしく思っている。

先週土曜日、鶴四小でのイベント後、私の家へ教え子が7人ほど訪ねてきた。うれしかった。その教え子の前で、教師生活のスタートを鶴四小で切れたことは大変幸運だった、未熟だけれども、みんな私のことを慕ってくれて、すごく幸せだったと言った。

もう一つよかったなと思ったのは、3年生を担当したとき、1組から5組までであったが、自分以外の皆が20年くらいの教師経験がある先生で、4人の先生がやっていることを見たり、それから教えてもらったりして、ベテランの先生からの教えがあったことが本当に助かった、よかったと思っている。小さい学校になって、1学年2クラスぐらいの、先生が2人しかいないような学校になってしまって、学べることが少なくなってしまうのではと心配していた。今度、鶴川中央小になって、大きくなるから本当によかったと思っているとの話をした。

委員 私が携らせていただいたのがこの1年だけだったが、私自身も本当にいい経験になったと思っている。今回、第14回ということで、私は最後の4回だけだが、この14回の積み重ねを毎回感じていた。やはり地域の皆様と共にあるのが学校だなということを改めて感じた。新入りとして、とにかく子どもたちが安心して学校生活を送れるように、また、統合に向かえるように頑張って、1年間、それなりに私なりにはやってこられたかなとは思っている。それも、鶴三小の先生方や地域の皆様、保護者の皆様と本当にいい連携が取れたなと、そこは本当に感謝している。いい地域だなということを、この1年で本当に感じていた。ぜひ頑張って、よい学校を皆さんで、また、よい子どもたちを育てていただけたらと思う。

委員 新しい学校をつくるための協議に参加できたことは、私にとっては大変喜ばしいことだったと思っている。いろいろ今まで、今年、81歳だが、最近考えているのは100年は短いなということで、鶴四小の55年の歴史ということを考えてみると、鶴川地域で小学校を統合してから約115年たっている。鶴川小学校ができてから115年で、それから、1960年代から次から次へと新しく学校ができて、また今度、子どもが減って、また少数になっていく。だから、世の中というのは、いろいろなことがあるものだなと感じている。そのときそのときによりベターな方向に進めるための討議に参加できたことは、非常にうれしいことだと思っている。

委員 この会には途中から参加させていただいたが、ボランティアコーディネーターの立場は、地域との連携を学校に生かすという役割を背負っているので、鶴三小で長い間お世話になっていると、小学校の1年から6年、大事な人間形成の時期に、鶴三小の環境が何とすばらしいことかということをも身をもって感じてきた。ゆくゆくは、

数年後、この環境が使えなくなるのかなというのが本当に寂しい気持ちではある。先行して統合している学校のボランティアコーディネーターの方に聞くと、距離は近くても文化の違いというのが歴然としていて、コーディネーターとしてはすごく大変なんだという話も聞いている。

協議会に参加させていただき、地域の方のお話を聞いたり、何せ教育委員会の皆さんが本当に細かい活動をしていただいている、それから、少しずつ時間が経過して校歌や校章が完成していく、それに子どもたちが関わって、本当に手作りで作って上げていく、そこに立ち合わせていただけたというのは本当に幸せだと思っている。これからも、できるだけ自分の持っている力がどこかで発揮できればいいかなとは思っている。

委員

この会議には一番最初から参加をさせていただいて、こうやって新しい学校はできていくんだなということを体験させていただき、こんなきれいな校章で、校歌も新しくできて、なのにもかかわらず、ここで12月にけがをしてしまって、先日ありました閉校式、体育館への階段を上るのはちょっと難しかったので、欠席ということで、非常に残念だった。

今後、ここが鶴川中央小になる3年間、新しくできる鶴川中央小に通うには、鶴四小学区からは、結構多くのお子さんがバス通学をしなければいけない。それと、距離も長くなるということで、安全にここまで3年間は通ってくれるといいなということをすごく感じている。

委員

先日、土曜日、鶴四小の閉校イベントに携わらせていただいたが、実はほとんど何もできていなくて、それで、すごいなと思ったのが、やはり鶴四小がなくなってしまうことに対して思いをはせた人たちが、すごくたくさんいらっちゃって、学校の統廃合は、他の委員の方もおっしゃっていたが、あまり経験できることじゃない。そういったところで、そういった人々のパワーを見させていただいたことには本当に感謝している。

あと、3年ぐらいお付き合いをさせていただいた中で、保護者代表としてお願いしているようなことに対しても、柔軟に対応していただいたことに関しては、本当に感謝申し上げます。

委員

私は、今年度1年間だけこちらに参加させていただいたのだが、子どもの安全のために、保護者だけじゃなくて地域の方がこんなにも携わっていただいていることを実感できたので、またこれから子どもが小学校に通う中で、そういったことも踏まえながら、でも、保護者ができることを模索して、子どもの安全を守っていきなと改めて思えた。

委員

本当にあつという間の3年間だったなというところだが、転居してきて数か月後にPTA会長に立候補して、会長になったと同時ぐらいに、市から学校統合の計画をご説明いただいた。私がまず思ったのは、今以上に鶴川が盛り上がるのではないかなというお話をさせていただいたことを、今でもよく覚えている。

学校は地域の顔ではないが、そういう部分がすごくあるのではないかなと思って

いる。なので、保護者として、学校という、子どもたちが主役だけれども、それをどうやって盛り上げられるか、そしてその場所を、質の担保というか、学校が崩壊してしまうと、その地域は全体的に治安が悪いイメージがあるので、そうならないよう、どうやったら維持できるかなというところで、いろんな形で関わってきた。

皆さんもおっしゃっていたが、やはり今回、統合というところがあり、ここまで地域の方が子どもたちのことを考えてくださり、本当にありがたいなという感謝の気持ちでいっぱいである。

引き続き、鶴川中央小になっても、鶴二小との統合を考えていかなければいけないので、今回のこの経験をまた生かして話が進められればいいなと思っている。

委員

私は、ここ5年間、お世話になったが、実は同じ会議を鶴二小のほうでもしている。私だけでなくPTA関係の方もしていて、いよいよ鶴川東地区との統合が始まるんだなということで、鶴二小との統合は遠いような話だと思うが、今度はまた違った形の統合という形になると思うので、そのことも頭の隅に置いておいていただけたらと思う。

私は2つの会議に出て、鶴川のことがすごくよく分かるようになったし、特徴も分かってきた。いろんな人にお世話になったことを本当にうれしく思っている。本当に皆さんお世話さまでした。